

令和8年度 市民と議会の意見交換会（要旨）

- 1 開催日時 令和8年5月24日（日曜日） ①10:00～11:30、②13:30～15:00
- 2 会 場 胎内市役所 全員協議会室
- 3 参加者 12人（午前7人、午後5人）
議員 5人 増子達也、丸山孝博、天木義人、森本将司、佐藤武志
- 4 テーマ (1) 観光資源と集客について
(2) 安心、安全で暮らしやすい街づくりについて
(3) 農業と特産品について
- 5 意見交換
【主な発言】

（１）観光資源と集客について

《午前の部》

- 参加者 胎内リゾートの活性化に力を入れているが、リゾートの活性化だけではなく、それ以外のまちなか等の飲食店の賑わいが生まれなければ意味がない。
⇒議員 例えば、きのと地区には、乙宝寺があるがお土産を買うところも少ない。イベントを開催しても、その日限りになってしまっている。市全体で連携して市内を周遊させるアプローチが必要と思う。
- 参加者 胎内市に興味をもっている人は、SNSを通じて地元の方より最新情報を早く入手している。
- 参加者 道の駅が情報発信の中心になるといい。
- 参加者 道の駅で農産物を販売したくても場所が奥まっているし、販売スペースの関係なのか断られたことがある。道の駅樽ヶ橋は他市と比べても狭く、農産物などを販売する場所もない。
⇒議員 阿賀野市や田上町では、道の駅で集客して、そこから市内を回遊させている。胎内市にも特産品を並べて販売するような大きい場所があるといい。
- 参加者 新たな道の駅を国道沿いに造ったらどうか。

《午後の部》

- 参加者 市内には観光資源はたくさんあるが、それを地元の人が分かっていないのは。地元の人の口コミや情報発信がどんなCMより効果的なので、それが上手くいくとよい。
- 参加者 観光資源はたくさんあるが、それを使いこなせていない。発信力も小さい。
- 参加者 情報発信について、個々の発信はしているが総合的な窓口がない。メインとなるポータルサイトが分からない。SNSの入り口を明確にしてほしい。

⇒議員 観光協会が窓口になって実施しているが、上手く機能していない感がある。

○参加者 観光振興を図るには、各施設が目標とする人数、売上金額などはっきりとした目標値をもって取り組むことが必要。

⇒議員 イベントなど SNS で発信しているというが、市民には伝わっていない。伝わらなければ集客につながらない。市外への発信も必要だが、市内に伝わらないと市民も発信できないので、その点の工夫が必要だと思う。

○参加者 地元の人でも、自分の生活に影響がなければ、観光に関心が薄い人も多い。観光のプロの人はがんばっているが、関心の薄い人を巻き込むような取組を考えられないか。一部分でも関わることで自分事となって好循環が生まれてくると思う。

○参加者 市外からの観光客を 1 つのイベントに参加して帰すのではなく、宿泊してもらい別のイベント等にも参加してもらうような仕組みを考えられるといい。

○参加者 10 年以上前に作成した観光に関する計画は、時代の流れに合わせて見直しが必要だと感じる。

⇒議員 執行部において随時修正を加え、更新していると思う。

(2) 安心、安全で暮らしやすい街づくりについて

《午前の部》

○参加者 近隣で不審者情報が流れてくる中で、築地の農道は民家も街灯も少なく、部活帰りなどで遅くなると暗くて怖い。(学校で指定されている通学路)

⇒議員 通学路であれば最優先に整備が必要。事件・事故が起きてからでは遅い。

○参加者 県道は明るいが、車通りが多く歩道もなく危険。

○参加者 防災無線も整備され安心・安全が進んでいると感じるが、人口減少が進んで税収が減ると想定される。今後、道路整備や上下水道など安心なまちづくりが維持できるのかが不安。

《午後の部》

○参加者 市内の緑化を推進してほしい。新たな生涯学習施設にも緑化環境を整えてほしい。

○参加者 防災無線について、緊急時の発信音量は今のままでいいが、毎日定時の朝 7 時、昼 12 時、夜 5 時のお知らせの音量は、もっと小さくしてほしい。

○参加者 クマやイノシシの出没情報は発信されるが、捕獲等の正確な情報も伝えてほしい。

○参加者 以前、屋外のガス管からガス漏れが発生したことがあった。ガス管は全体的

に老朽化が進行していて、またガス漏れが発生しないか不安である。ガスは民間会社の管理であるが市民の安全の観点から、市でもつなぎ役をするなど窓口的な役割を担ってほしい。

- 参加者 半山（野中も同様）にある国道の地下道は、急こう配である。半山地区の緊急時の避難場所は中条小学校で、その地下道を通る必要があるが、高齢者の通行は困難である。地上の横断歩道を歩くにしても、時間がかかり信号が変わると危険。地下道の改善の要望を出したいが、どこに、誰に提出すればいいのかわからない。

（３）農業と特産品について

《午前の部》

- 参加者 地元の方から土地を借りて農業を営んでいるが、外国の方の土地売買について把握しているのか。外国人が市内の広大な土地（農地）を取得したが管理していなくて迷惑している。外国の方が農地を簡単に売買できるのか。

⇒議員 土地自体の売買と違い、農地は簡単には売買できないと思う。

- 参加者 兼業農家だが、農業資材が高く乾燥機の燃料代も上昇気味でこの先の見通しが立たない。

- 参加者 使っていない畑がかなりの面積で存在している。借りようにも誰の名義かも不明で管理ができていない。

《午後の部》

- 参加者 農家向けの創意工夫補助金の申し込みが定員に達したようだが、なかなか特産品に結びついていない。一方で、食料農業大学との連携で新たな特産品が生まれるといい。

（４）その他

- 参加者 生涯学習施設の建設場所が嘉平山でいいのか。本当に、多くの人に利用される場所なのか。

- 参加者 令和８年度一般会計予算（生涯学習施設関連予算）に賛成した議員の考えを伺いたい。

⇒議員 嘉平山はまちなかからは離れているが、既存の建物は残して、古くなれば建替えも考えるということで賛成した。まちなかの市民からは不便かもしれないが、それ以外の地区の方からはアクセスがよくなる。財源では、洋上風力や補助金など総合的に考えてやれると判断した。

⇒議員 審議会の回答にあるとおり、広いスペースが確保できてあまり費用を要しないのであれば、嘉平山はベストではないがほかの候補地に比べても悪くはない。

○参加者 市民が実際に嘉平山の土地を見たことはあるのか。事務局に見学したいと依頼したが、基本設計が完成するまではできないと断られた。予定地は、市民にも自由に見学させるべきではないか。見学会を実施してほしい。

⇒議員 議会では、現地調査のため見学してきた。一般市民にも見学させてもいいと思う。

○参加者 クマが民家に降りてこないような対策が必要ではないか。

⇒議員 刈払いを実施している。また今年度から柿の木などの果樹木の伐採補助を実施している。

○参加者 洋上風力の風車が2キロ沖に建設されると聞いているが、近すぎないか。市民生活に影響がないか、健康被害が心配。

○参加者 市で事業者と求職者を結びつける単日・短時間就労マッチングサービスの取組を進めているが、農家の手伝いに活用できるか。

⇒参加者 農業は、きつくて経験者でなければ難しいと思う。

6 閉会挨拶